麺一祭り館林

2日間の開催で４万人の賑わい



「麺－１祭り館林２０２６」（同実行委員会主催）が１０月１７日（土）、１８日（日）の両日、晴天の館林城ゆめひろばで開催され、約４万人の来場者で賑わった。

同イベントは１０年以上の歴史を持つ「麺－１グランプリ」の後継となるイベントで、館林市が「麺のまち」であることを全国にアピールする目的で開催されている。昨年より、グランプリで実施されていた投票を廃止し、出店者の順位付けを行わない「お祭り」として開催し今回で２度目となる。昨年実施していた食券での販売から一新し、店舗は自慢の麺料理複数種類を自由な価格で販売した。

今回は、ラーメン１３店、焼きそば８店、うどん５店、パスタ３店、そば・そうめんが各１店の計３１店の麺料理店に加え、飲物やデザートを販売する７店が出店した。来場者は様々な麺料理に加え、デザートや飲み物もお腹いっぱいになるまで楽しんでいた。

また、イベント開催中は多くのステージイベントが会場を盛り上げた。Ｍｅｎｋｏｉガールズによる書道パフォーマンス・ライブステージ、ＹＯＫＯＴＡバンドやザ・ウドニーズのライブ、八木節や和太鼓のパフォーマンスなど恒例のステージイベントに加え、館林女子高等学校の吹奏楽部やダンス部による成果発表、ケーブルテレビ館林による「ドキドキチャレンジ！箱の中にはなにがある？」、TutujiBand によるライブパフォーマンス、ハローワーク館林や館林市観光協会のゆるキャラたちによるクイズ大会も行われ、会場は大いに盛り上がった。



▲開会のあいさつをする正田会頭